

# 2026年度 履修要綱

昭和音楽大学大学院 音楽研究科  
博士後期課程

A large, bold, light-colored number '2026' is centered on a dark purple background. The background features abstract, overlapping geometric shapes in various shades of purple, creating a modern and artistic design.

〔 この履修要綱は、修了するまでの間の履修について定めたものです。 〕

# 目次

# INDEX

1. 人材養成目的および教育研究上の目的	3
2. 3つのポリシー	3
■ ディプロマ・ポリシー	3
■ カリキュラム・ポリシー	4
■ アドミッション・ポリシー	6
3. アセスメントプラン	7
4. 研究倫理について	7
5. 博士後期課程のカリキュラムについて	8
6. 成績評価	10
7. 修了要件	10
8. 予備審査について	11
9. 学位審査について	11
10. 学位について	12
11. 課程修了後について	12
12. カリキュラム	13
■ 音楽芸術表現領域	14
■ 音楽芸術運営領域(舞台芸術政策研究・舞台芸術マネジメント)	15
■ 音楽芸術運営領域(音楽療法)	16
■ 音楽文化研究領域(音楽文化論)	17
◎ 科目ナンバリング	18
◎ 博士後期課程 科目一覧	19

# 1. 人材養成目的および教育研究上の目的

## ■ 昭和音楽大学大学院 音楽研究科 博士後期課程 音楽芸術専攻

本学の「礼・節・技の人間教育」の理念のもと、音楽と音楽に関わる芸術・学術領域において、きわめて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、専攻分野の学術的な研究を自立して行うことができ、将来、高等教育や高度な学術研究を担うことができる人材の育成を目的とする。

また、社会や文化に対する多角的な視野と高い識見、学際的な知見をもって音楽芸術文化の未来を展望し、その進展を担うことができる人材の育成を目的とするとともに、それらを可能とする学術研究を行うことを目的とする。

# 2. 3つのポリシー

昭和音楽大学大学院 音楽研究科は、人材養成目的および教育研究上の目的を達成するために、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)を、下記のとおり学位プログラムごとに定める。

## ■ ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

### ■ 博士(音楽):音楽芸術表現領域

人材養成目的および教育研究上の目的に基づき、本課程における研究をとおして以下の資質・能力を身に付け、大学院規則第17条に定める修了要件を満たした者に対して修了を認定し、「博士(音楽)」の学位を授与します。

1. 音楽の各分野における卓越した技術や表現力およびきわめて高度な知識と教養
2. 自ら策定した研究計画に従って、自立して研究する能力
3. 高度な学術研究や高等教育を担うために必要な能力(問題発見能力や課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解し、批判的に検証する能力、言語表現力やプレゼンテーション能力)
4. 社会や文化に対する多角的な視野と高い識見および学際的な知見

### ■ 博士(芸術):音楽芸術運営領域(舞台芸術政策研究・舞台芸術マネジメント)

人材養成目的および教育研究上の目的に基づき、本課程における研究をとおして以下の資質・能力を身に付け、大学院規則第17条に定める修了要件を満たした者に対して修了を認定し、「博士(芸術)」の学位を授与します。

1. 舞台芸術政策、舞台芸術マネジメントの分野におけるきわめて高度な専門知識と独自の優れた知見
2. 自ら策定した研究計画に従って、自立して研究する能力
3. 高度な学術研究や高等教育を担うために必要な能力(問題発見能力や課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解し、批判的に検証する能力、言語表現力やプレゼンテーション能力)
4. 社会や文化に対する多角的な視野と高い識見および学際的な知見

### ■ 博士(音楽療法):音楽芸術運営領域(音楽療法)

人材養成目的および教育研究上の目的に基づき、本課程における研究をとおして以下の資質・能力を身に付け、大学院規則第17条に定める修了要件を満たした者に対して修了を認定し、「博士(音楽療法)」の学位を授与します。

1. 音楽療法分野におけるきわめて高度な専門知識と独自の優れた知見
2. 自ら策定した研究計画に従って、自立して研究する能力
3. 高度な学術研究や高等教育を担うために必要な能力(問題発見能力や課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解し、批判的に検証する能力、言語表現力やプレゼンテーション能力)
4. 社会や文化に対する多角的な視野と高い識見および学際的な知見

### ■ 博士(芸術):音楽文化研究領域(音楽文化論)

人材養成目的および教育研究上の目的に基づき、本課程における研究をとおして以下の資質・能力を身に付け、大学院規則第17条に定める修了要件を満たした者に対して修了を認定し、「博士(芸術)」の学位を授与します。

1. 音楽文化研究の分野におけるきわめて高度な専門知識と独自の優れた知見
2. 自ら策定した研究計画に従って、自立して研究する能力
3. 高度な学術研究や高等教育を担うために必要な能力(問題発見能力や課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解し、批判的に検証する能力、言語表現力やプレゼンテーション能力)
4. 社会や文化に対する多角的な視野と高い識見および学際的な知見

## カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

### ■ 博士(音楽):音楽芸術表現領域

本課程における研究をととして、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備えた人材を育成するため、教育課程に関する方針を以下のとおり設定し、これに基づいて体系的にカリキュラムを編成します。

#### <教育課程の編成>

ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得をめざし、教育課程を 研究課題に基づいて専門性を高める専門科目を「必修科目」ならびに「選択必修科目」として配置し、専門の研究分野と関連分野における幅広い知識と知見、応用能力を獲得するための科目を「選択科目」として配置し、体系的な教育課程を編成します。

#### <教育の内容・方法>

- 博士後期課程における研究を総括する博士研究指導を1年次～3年次を通じて実施します。毎年「研究計画書」と「博士論文執筆計画書」を作成のうえ研究に取り組み、1年次および2年次の終了時には、当年度の実技研究の成果および博士論文執筆の進捗状況を文書により報告します。3年次(最終年次)の終了時には、3年間の研究成果を総括するものとして、研究演奏や研究作品、博士論文を提出します。
- 博士論文指導については、1年次および2年次に「博士表現領域論文演習①～④」を必修科目として配置し、博士論文の執筆指導を行います。
- 専門分野の研究については、1年次および2年次に「博士特別表現研究①②」を配置し、「博士研究指導」においてオーソライズされた研究計画に従い、専門実技のレッスンを主体として、それに関連する歌唱法研究、楽器の奏法研究、様式研究、舞台表現研究、台本研究、作曲家研究、作品研究、創作技法研究等を含む、実践的な実技研究を行います。各年次ともに、年度末には当年度の研究成果を総括する「研究演奏」または「研究作品提出」による研究発表を行います。

#### <学修成果の評価>

- 各授業科目における達成度の評価は、シラバス等によりあらかじめ示した成績評価方法・基準に基づき、客観的かつ厳格に行います。
- 博士論文審査基準に基づき、博士論文の審査を行います。

### ■ 博士(芸術):音楽芸術運営領域(舞台芸術政策研究・舞台芸術マネジメント)

本課程における研究をととして、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備えた人材を育成するため、教育課程に関する方針を以下のとおり設定し、これに基づいて体系的にカリキュラムを編成します。

#### <教育課程の編成>

ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得をめざし、教育課程を 研究課題に基づいて専門性を高める専門科目を「必修科目」ならびに「選択必修科目」として配置し、専門の研究分野と関連分野における幅広い知識と知見、応用能力を獲得するための科目を「選択科目」として配置し、体系的な教育課程を編成します。

#### <教育の内容・方法>

- 博士後期課程における研究を総括する博士研究指導を1年次～3年次を通じて実施します。毎年「研究計画書」と「博士論文執筆計画書」を作成のうえ研究に取り組み、1年次および2年次の終了時には、当年度の研究の成果および博士論文執筆の進捗状況を文書により報告します。3年次(最終年次)の終了時には、3年間の研究成果を総括するものとして、博士論文を提出します。
- 博士論文指導については、1年次および2年次に「博士運営領域論文演習①～④」を必修科目として配置し、博士論文の執筆指導を行います。
- 専門分野の研究については、1年次および2年次に「博士運営領域研究①～④」を配置し、「博士研究指導」においてオーソライズされた研究計画に従い、専門とする舞台芸術政策研究または舞台芸術マネジメントの分野の主に実践的研究を行います。各年次ともに、年度末には当年度を総括する研究発表を行います。研究発表は、学会誌等学術誌への寄稿または学会発表を以って代えることが可能です。

#### <学修成果の評価>

- 各授業科目における達成度の評価は、シラバス等によりあらかじめ示した成績評価方法・基準に基づき、客観的かつ厳格に行います。
- 博士論文審査基準に基づき、博士論文の審査を行います。

## ■ 博士(音楽療法):音楽芸術運営領域(音楽療法)

本課程における研究をととして、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備えた人材を育成するため、教育課程に関する方針を以下のとおり設定し、これに基づいて体系的にカリキュラムを編成します。

### <教育課程の編成>

ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得をめざし、教育課程を 研究課題に基づいて専門性を高める専門科目を「必修科目」ならびに「選択必修科目」として配置し、専門の研究分野と関連分野における幅広い知識と知見、応用能力を獲得するための科目を「選択科目」として配置し、体系的な教育課程を編成します。

### <教育の内容・方法>

- 博士後期課程における研究を総括する博士研究指導を1年次～3年次を通じて実施します。毎年「研究計画書」と「博士論文執筆計画書」を作成のうえ研究に取り組み、1年次および2年次の終了時には、当年度の研究の成果および博士論文執筆の進捗状況を文書により報告します。3年次(最終年次)の終了時には、3年間の研究成果を総括するものとして、博士論文を提出します。
- 博士論文指導については、1年次および2年次に「博士運営領域論文演習①～④」を必修科目として配置し、博士論文の執筆指導を行います。
- 専門分野の研究については、1年次および2年次に「博士運営領域研究①～④」を配置し、「博士研究指導」においてオーソライズされた研究計画に従い、音楽療法の分野の主に実践的研究を行います。各年次ともに、年度末には当年度を総括する研究発表を行います。研究発表は、学会誌等学術誌への寄稿または学会発表を以って代えることが可能です。

### <学修成果の評価>

- 各授業科目における達成度の評価は、シラバス等によりあらかじめ示した成績評価方法・基準に基づき、客観的かつ厳格に行います。
- 博士論文審査基準に基づき、博士論文の審査を行います。

## ■ 博士(芸術):音楽文化研究領域(音楽文化論)

本課程における研究をととして、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備えた人材を育成するため、教育課程に関する方針を以下のとおり設定し、これに基づいて体系的にカリキュラムを編成します。

### <教育課程の編成>

ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得をめざし、教育課程を 研究課題に基づいて専門性を高める専門科目を「必修科目」ならびに「選択必修科目」として配置し、専門の研究分野と関連分野における幅広い知識と知見、応用能力を獲得するための科目を「選択科目」として配置し、体系的な教育課程を編成します。

### <教育の内容・方法>

- 博士後期課程における研究を総括する博士研究指導を1年次～3年次を通じて実施します。毎年「研究計画書」と「博士論文執筆計画書」を作成のうえ研究に取り組み、1年次および2年次の終了時には、当年度の研究の成果および博士論文執筆の進捗状況を文書により報告します。3年次(最終年次)の終了時には、3年間の研究成果を総括するものとして、博士論文を提出します。
- 博士論文指導については、1年次および2年次に「博士音楽文化研究領域論文演習①～④」を必修科目として配置し、博士論文の執筆指導を行います。
- 専門分野の研究については、1年次および2年次に「博士音楽文化研究領域研究①～④」を配置し、「博士研究指導」においてオーソライズされた研究計画に従い、音楽文化研究の分野の主に実践的研究を行います。各年次ともに、年度末には当年度を総括する研究発表を行います。研究発表は、学会誌等学術誌への寄稿または学会発表を以って代えることが可能です。

### <学修成果の評価>

- 各授業科目における達成度の評価は、シラバス等によりあらかじめ示した成績評価方法・基準に基づき、客観的かつ厳格に行います。
- 博士論文審査基準に基づき、博士論文の審査を行います。

## アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

本学は、「礼・節・技の人間教育」を建学の精神とし、各専門分野のきわめて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽芸術文化の進展を担うことができる人材を育成することを目的としています。建学の精神と教育目的を理解し、意欲あふれる人物を受け入れます。

### ■ 博士(音楽):音楽芸術表現領域

#### <求める人物像>

次の要素を備えた人物を求めます。

1. 音楽の専門分野における優れた技術や表現力と高度な知識
2. 音楽芸術全般に関する広範な知識と教養
3. 高度な研究を自立して行うための能力と意欲
4. 高度な学術研究や高等教育への強い興味と意欲

#### <入学後の期待>

入学時に求められる上記の資質・能力をもとに、将来、音楽芸術文化の未来を展望し、その進展を促進するとともに、高度な学術研究や高等教育を担うために必要な基盤を獲得することを期待します。

#### <入学者選抜方式>

入学者の選抜は、修士論文またはそれに準ずる修士研究、研究計画、専攻実技または作品審査、外国語試験、口頭試問および提出書類等を総合して判定します。

### ■ 博士(芸術):音楽芸術運営領域(舞台芸術政策研究・舞台芸術マネジメント)

#### <求める人物像>

次の要素を備えた人物を求めます。

1. 舞台芸術政策、舞台芸術マネジメントの分野における高度な知識と優れた実践的能力
2. 音楽芸術全般に関する広範な知識と教養
3. 高度な研究を自立して行うための能力と意欲
4. 高度な学術研究や高等教育への強い興味と意欲

#### <入学後の期待>

入学時に求められる上記の資質・能力をもとに、将来、音楽芸術文化の未来を展望し、その進展を促進するとともに、高度な学術研究や高等教育を担うために必要な基盤を獲得することを期待します。

#### <入学者選抜方式>

入学者の選抜は、修士論文またはそれに準ずる修士研究、研究計画、外国語試験、口頭試問および提出書類等を総合して判定します。

### ■ 博士(音楽療法):音楽芸術運営領域(音楽療法)

#### <求める人物像>

次の要素を備えた人物を求めます。

1. 音楽療法分野における高度な知識と優れた実践的能力
2. 音楽芸術全般に関する広範な知識と教養
3. 高度な研究を自立して行うための能力と意欲
4. 高度な学術研究や高等教育への強い興味と意欲

#### <入学後の期待>

入学時に求められる上記の資質・能力をもとに、将来、音楽芸術文化の未来を展望し、その進展を促進するとともに、高度な学術研究や高等教育を担うために必要な基盤を獲得することを期待します。

#### <入学者選抜方式>

入学者の選抜は、修士論文、研究計画、外国語試験、口頭試問および提出書類等を総合して判定します。

### ■ 博士(芸術):音楽文化研究領域(音楽文化論)

#### <求める人物像>

次の要素を備えた人物を求めます。

1. 音楽文化研究分野における高度な知識と優れた実践的能力
2. 音楽芸術全般に関する広範な知識と教養
3. 高度な研究を自立して行うための能力と意欲
4. 高度な学術研究や高等教育への強い興味と意欲

#### <入学後の期待>

入学時に求められる上記の資質・能力をもとに、将来、音楽芸術文化の未来を展望し、その進展を促進するとともに、高度な学術研究や高等教育を担うために必要な基盤を獲得することを期待します。

#### <入学者選抜方式>

入学者の選抜は、修士論文、研究計画、外国語試験、口頭試問および提出書類等を総合して判定します。

## 3. アセスメントプラン

本学は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づき、学生の学修成果の獲得状況を測定・検証するため、その方針をアセスメントプランとして定めています。

アセスメントプランは機関レベル(大学院音楽研究科全体)、教育課程レベル(大学院音楽研究科・課程・専攻)、科目レベル(授業科目)の3つのレベルで、学修成果の測定・検証を行います。

### (1)機関レベル(大学院音楽研究科全体)

修了者数、学位授与数、進学率、就職率、休学率・退学率、進路決定状況調査や学修成果に関するアンケート調査等の結果から、学生の学修成果の獲得状況を測定・検証する。

### (2)教育課程レベル(大学院音楽研究科・課程・専攻)

単位修得状況、GPA、修了要件達成状況、学位取得状況、資格取得状況、学生の学修実態調査等の結果から、学生の学修成果の獲得状況を測定・検証する。

### (3)科目レベル(授業科目)

シラバスで示されている授業科目ごとの教育目標の達成状況、学生による授業評価アンケート等の結果から、学生の学修成果の獲得状況を測定・検証する。

## 4. 研究倫理について

研究活動に従事する全ての研究者は、研究倫理を遵守しなければならない。本学における「研究者」とは、研究計画の立案、実施、成果発表等一連の行為、またはそれに関連するすべての行為を行う者を指し、学生もこれに含める。研究活動における社会的責任を果たすために、研究の成果(博士論文の執筆、研究演奏発表、研究作品提出等)はもとより、そのプロセスにおいても、社会からの信頼に応えるものでなければならない。

本学では、「昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部研究倫理規範」「昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部研究倫理規程」「昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部研究成果有体物取扱規程」が制定されており、全研究者に遵守を求めている。また、日本学術振興会が公開している研究倫理教材『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』およびその内容をもとに作成されたeラーニング教材「研究倫理eラーニング(eL CoRE)」を推奨している。

博士後期課程に在籍する者は、第1回研究指導が実施される前に、研究倫理に関する本学の規範および規程、そして『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』を通読のうえ、「研究倫理eラーニング(eL CoRE)」を受講し、授業支援室に修了証書を提出すること。

なお、規範および規程は改訂・改正が見込まれるため、大学HP上で最新版を確認するものとする。

### 参考リンク\*

#### [「研究倫理に関する本学の取り組み」](#)

(昭和音楽大学ウェブサイトへリンク)別ウィンドウで開きます

#### [「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－【日本語テキスト版】」](#)

(日本学術振興会ウェブサイトへリンク)別ウィンドウで開きます

#### [「研究倫理eラーニング\(eL CoRE\)」](#)

(日本学術振興会ウェブサイトへリンク)別ウィンドウで開きます

\*各ページのリンクは2026年3月現在のものであり今後変更される場合があります

# 5. 博士後期課程のカリキュラムについて

## カリキュラムの概要

博士後期課程のカリキュラムは、以下のものからなっている。

- ・ 必修科目 … 研究課題に基づいて専門性を高度に高める専門科目
- ・ 選択科目 … 専門の研究分野と関連分野における幅広い知識と知見、応用能力を獲得するための科目

## 必修科目

### ◇「博士研究指導①～⑥」

博士後期課程における研究を総括するとともに、その根幹をなす科目として、第1年次～第3年次を通じて設置される専門科目。単位は設定しない。各年次の初めと終わりに実施される。

「音楽芸術表現領域」では、各専門分野の教員(声楽・器楽演奏実技、または創作実技に関する研究指導を担当)と音楽学の教員(学術的な視点からの研究指導を担当)による複数指導体制とする。「音楽芸術運営領域」では、舞台芸術政策研究、舞台芸術マネジメント、または音楽療法のうち、いずれかの専門分野の教員が指導する。「音楽文化研究領域」では、音楽学の教員が指導する。

- ① 各年次の初めに、学生は当年度の実技研究についての具体的な「研究計画書」、および当年度における「博士論文執筆計画書」を提出する(第1年次の初めには、3年間を通じて取り組む研究課題とその実施計画も提出する)。
- ② ①に基づき、学生と担当する指導教員の全員が一堂に会して面談を行う。学生は、その内容や方法に関して指導と承認を受ける。
- ③ 第1年次および第2年次の終了時には、当年度の実技研究の成果および博士論文執筆の進捗状況を文書により報告し、「博士特別表現研究」における年次演奏発表(声楽、器楽、指揮)または年次作品提出(作曲)、もしくは「博士特別運営研究」における年次研究発表の評価とあわせて、全体的な年次研究成果の評価を受ける。
- ④ 第3年次(最終年次)の終了時には、3年間の研究成果を総括するものとして
  - ・ 声楽、器楽、指揮の場合は研究演奏の発表と博士論文の提出
  - ・ 作曲の場合は研究作品と博士論文の提出
  - ・ 舞台芸術政策研究、舞台芸術マネジメント、音楽療法、音楽文化論の場合は博士論文の提出を行う。研究演奏または研究作品、および博士論文は、昭和音楽大学大学院規則ならびに昭和音楽大学学位規則に則って行われる学位審査にかけられる。

### ◇「博士表現領域論文演習①～④」(音楽芸術表現領域)

音楽芸術表現領域の第1年次および第2年次に開講する専門科目。博士論文の執筆指導を行うもので、指導は音楽学の教員が行う。

### ◇「博士運営領域論文演習①～④」(音楽芸術運営領域)

音楽芸術運営領域の第1年次および第2年次に開講する専門科目。博士論文の執筆指導を行うもので、指導は舞台芸術政策研究、舞台芸術マネジメント、音楽療法の各専門分野の教員が行う。

### ◇「博士音楽文化研究療育論文演習①～④」(音楽文化研究領域)

音楽文化研究領域の第1年次および第2年次に開講する専門科目。博士論文の執筆指導を行うもので、指導は音楽学の教員が行う。

### ◇「博士表現領域研究①～④」(音楽芸術表現領域)

第1年次および第2年次に開講する専門科目。「博士研究指導」においてオーソライズされた研究計画に従って、専門とする分野の実践的な実技研究を行う。専門実技のレッスンを主体としつつ、それに関連する歌唱法研究、楽器の奏法研究、様式研究、舞台表現研究、台本研究、作曲家研究、作品研究、創作技法研究等を行う。指導は当該領域の教員が行う。

第1年次、第2年次ともに、年度末には当年度の研究成果を総括する「研究演奏」(声楽、器楽)または「研究作品提出」(作曲)による研究発表を行い、評価を受ける。

### ◇「博士運営領域研究①～④」(音楽芸術運営領域)

第1年次および第2年次に開講する専門科目。「博士研究指導」においてオーソライズされた研究計画に従って、専門とする舞台芸術政策研究、舞台芸術マネジメント、または音楽療法の分野の主に実践的研究を行う。指導は当該領域の教員が行う。

第1年次、第2年次ともに、年度末には当年度を総括する研究発表を行い、評価を受ける。研究発表は、学会誌等学術誌への寄稿または学会発表を以って代えることができる。

### ◇「博士音楽文化研究領域研究①～④」(音楽文化研究領域)

第1年次および第2年次に開講する専門科目。「博士研究指導」においてオーソライズされた研究計画に従って、専門とする分野の主に実践的研究を行う。指導は当該領域の教員が行う。

第1年次、第2年次ともに、年度末には当年度を総括する研究発表を行い、評価を受ける。

## ■ 選択科目(全領域共通)

選択科目は、主として「音楽芸術表現領域」の学生の履修を想定しているものと、「音楽芸術運営領域」の学生の履修を想定しているものがあるが、学生の興味や資質、研究内容によっては、領域にこだわらずにいずれの科目も履修することが可能である。

◇博士西洋音楽史特講Ⅰ・Ⅱ[表現]

◇博士音楽美学特講Ⅰ・Ⅱ[表現]

◇博士外国語原典研究特講Ⅰ・Ⅱ[表現]

◇博士楽曲研究特講Ⅰ・Ⅱ[表現]

◇博士舞台芸術政策特講Ⅰ・Ⅱ[運営]

◇博士舞台芸術マネジメント特講Ⅰ・Ⅱ[運営]

◇博士音楽療法特講Ⅰ・Ⅱ[運営]

## ■ 博士後期課程の年間スケジュール

時期(予定)	第1年次	第2年次	第3年次
4月上旬	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
5月上旬	研究計画書①提出 博士論文執筆計画書①提出	研究計画書②提出 博士論文執筆計画書②提出	研究計画書③提出 博士論文執筆計画書③提出
5月中旬	博士研究指導	博士研究指導	博士研究指導
9月中～下旬			学位審査申請書提出
10月末			博士論文提出
1月末	研究進捗状況報告書①提出	研究進捗状況報告書②提出 予備審査申請書提出	【表現】博士研究作品提出 【表現】博士研究演奏
2月	博士年次研究作品提出・研究発表	博士年次研究作品提出・研究発表	博士研究指導 博士論文口頭試問
2月中～下旬	博士研究指導	博士研究指導 予備審査	
3月上旬			博士学位審査 課程修了判定
3月中旬			修了式・学位記授与
			博士論文要旨データ提出 博士論文全文データ提出

## 6. 成績評価

評価	点数等	合否	単位	グレードポイント (GP)
S	100～90点	合格	認定	4
A	89～80点	合格	認定	3
B	79～70点	合格	認定	2
C	69～60点	合格	認定	1
F	59点以下	不合格	不認定	0
M	試験未受験	不合格	不認定	0
T	出席不良による受験停止	不合格	不認定	0
CR	合・否のみで判定される一部の科目の「合格」	合格	認定	—
NC	合・否のみで判定される一部の科目の「不合格」	不合格	不認定	—
N	本学入学前の既修得単位	—	認定	—

### 評価方法

科目ごとに設定してしている学修成果が修得できているかを、定期試験等を実施し、点数により適正に評価し、単位認定を行う。

### シラバス

本学は授業科目ごとにシラバス(授業計画)を作成、ポータルサイトで公表をしている。シラバスには教育目標と概要、学修成果、成績評価、授業外学修、授業展開、実務経験のある教員による科目等が記載されている。シラバスは学修計画、コース別教育課程、評価方法等を理解するうえで重要となるため、科目を履修する際は必ず確認、理解をすること。

### GPA制度

本学は適切な成績管理の実施、客観的な成績評価、科目間の成績評価基準の平準化を目的として、成績評価に基づき、学業成績を総合的に判断する指標として、単位当たりの成績評価の平均値を示すGPA(グレードポイントアベレージ)を用いている。なお、修了判定時にGPAを基準のひとつとして判定を行う。

## 7. 修了要件

修了要件は、本博士後期課程に3年以上在学し、必修科目合計8単位に加えて、選択科目から6単位以上の合計14単位を修得していることである。かつ、必要な研究指導を受けた上で、音楽芸術表現領域においては研究演奏または研究作品(演奏審査を含む)、および学位論文の審査および試験に、また音楽芸術運営領域および音楽文化研究領域においては学位論文の審査および試験に合格することである。

## 8. 予備審査について

学位審査を希望する者は、予備審査を受け、合格しなければならない。

予備審査は原則として第2年次の2月に実施され、予備審査を願ひ出る者は、予備審査の申請の書類等を所定の期限までに提出する必要がある。

「音楽芸術表現領域」の者に対しては、学位論文、研究演奏または研究作品の予備審査を行うものとする。

「音楽芸術運営領域」および「音楽文化研究領域」の者に対しては、学位論文の予備審査を行うものとする。予備審査終了後、結果が申請者に通知される。

なお、予備審査の結果が不合格だった者は、次年度以降に再度、予備審査を受けることができる。

## 9. 学位審査について

学位審査は、予備審査に合格した者に対して昭和音楽大学大学院規則ならびに昭和音楽大学学位規則に則って行われる。審査は音楽研究科委員会に付託され、研究科委員会は、研究科委員会の教員3名以上で構成する「学位審査委員会」を設ける。学位審査委員会は、「音楽芸術表現領域」の者に対しては原則として公開による研究演奏または研究作品の審査を行うとともに、博士論文の審査を行い、博士論文の内容等に関する質疑による最終試験を実施する。このうち、作曲を専門とする者の研究作品については、作品の形態により楽譜またはデータを記録したメディアを提出させ、譜面審査(データの場合はその内容の審査)および演奏による審査を行う。また「音楽芸術運営領域」および「音楽文化研究領域」の者に対しては、博士論文の内容等に関する質疑による最終試験を実施する。最終試験の後、学位審査委員会の報告に基づいて、研究科委員会が審議した結果、学位を授与することを決定する。

### 博士論文審査基準

昭和音楽大学大学院音楽研究科では、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に基づき、博士論文の審査基準を次のとおり定めています。

- 先行研究を十分に検討し、当該研究分野における論文の位置付けを明示していること。
- 研究の目的、対象、方法、視点、見解などにおいて独創性があること。
- 研究の目的、対象、方法が明示されており、論文の構成が適切であること。
- 収集したデータ・情報を適切に整理、提示、分析していること。
- 必要十分な議論が論理的に展開されていること。
- 引用の仕方、分量が適切であり、適切に言及、批判されていること。
- 研究倫理を遵守していること。

## 10. 学位について

「昭和音楽大学学位規則」の定めるところにより、本学博士後期課程で授与される学位は以下のとおりである。

研究領域	研究分野	学位
音楽芸術表現領域		博士(音楽) Doctor of Musical Arts
音楽芸術運営領域	舞台芸術政策研究	博士(芸術) Doctor of Philosophy in Arts Management
音楽芸術運営領域	舞台芸術マネジメント	博士(芸術) Doctor of Philosophy in Arts Management
音楽芸術運営領域	音楽療法	博士(音楽療法) Doctor of Philosophy in Music Therapy
音楽文化研究領域	音楽文化論	博士(芸術) Doctor of Philosophy in Cultural Studies of Music

## 11. 課程修了後について

### (1) 博士論文の公表

博士の学位を授与された者は、当該学位を授与された日から一年以内に、大学の協力を得て博士論文の全文をインターネットにより公表することが学位規則(昭和二十八年四月一日文部省令第九号)によって義務付けられている。また、大学は当該博士の学位を授与した日から三カ月以内に、当該博士論文の内容の要旨および論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表することが義務付けられている。

昭和音楽大学では、本学における研究成果を電子的に収集・保存している機関リポジトリに博士論文を登録することによって公表する。詳しくは「[機関リポジトリ登録のための博士論文提出マニュアル](#)」を確認すること。

### (2) 音楽芸術運営領域の博士研究発表について

音楽芸術運営領域の博士研究発表は学位の授与が決定したのち、個別の申し出により実施することができる。

# 13. カリキュラム

## ■ 音楽芸術表現領域

## ■ 音楽芸術運営領域

舞台芸術政策研究・舞台芸術マネジメント

音楽療法

## ■ 音楽文化研究領域

音楽文化論

## ■ 修了要件単位数：14単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる
- カテゴリ「必修」は全て修得すること
- カテゴリ「選択」から6単位以上修得すること

## ■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 「イタリアオペラの歌唱法」を研究主題とする場合

博士西洋音楽史特講Ⅰ
博士外国語原典研究特講Ⅰ
博士音楽美学特講Ⅱ
博士西洋音楽史特講Ⅰ

- 「現代のピアノ音楽と奏法」を研究主題とする場合

博士音楽美学特講Ⅰ
博士西洋音楽史特講Ⅰ
博士外国語原典研究特講Ⅱ
博士楽曲研究特講Ⅱ

- 「歴史的フルートの奏法」を研究主題とする場合

博士西洋音楽史特講Ⅰ
博士外国語原典研究特講Ⅱ
博士音楽美学特講Ⅰ
博士楽曲研究特講Ⅰ

- 「管弦楽を用いた作曲技法」を研究主題とする場合

博士外国語原典研究特講Ⅰ
博士音楽美学特講Ⅰ
博士西洋音楽史特講Ⅱ
博士楽曲研究特講Ⅱ

- 「声楽を含む管弦楽曲の指揮」を研究主題とする場合

博士外国語原典研究特講Ⅰ
博士音楽美学特講Ⅰ
博士西洋音楽史特講Ⅱ
博士楽曲研究特講Ⅱ

## ■ 開講科目一覧

ナンバリングコード*	科目名	単位数	カテゴリ	配当年次	備考
COMN701	博士研究指導①	0	必修	1	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN702	博士研究指導②	0	必修	1	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN801	博士研究指導③	0	必修	2	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN802	博士研究指導④	0	必修	2	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN901	博士研究指導⑤	0	必修	3	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN902	博士研究指導⑥	0	必修	3	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
DMAP701	博士表現領域論文演習①	1	必修	1	
DMAP702	博士表現領域論文演習②	1	必修	1	
DMAP801	博士表現領域論文演習③	1	必修	2	
DMAP802	博士表現領域論文演習④	1	必修	2	
DMAP703	博士表現領域研究①	1	必修	1	
DMAP704	博士表現領域研究②	1	必修	1	
DMAP803	博士表現領域研究③	1	必修	2	
DMAP804	博士表現領域研究④	1	必修	2	
DMAP901	博士表現領域論文演習⑤	1	選択	3	
DMAP902	博士表現領域論文演習⑥	1	選択	3	
DMAP903	博士表現領域研究⑤	1	選択	3	
DMAP904	博士表現領域研究⑥	1	選択	3	
HIST701	博士西洋音楽史特講Ⅰ	2	選択	1	
HIST702	博士西洋音楽史特講Ⅱ	2	選択	1	
MCGY701	博士音楽美学特講Ⅰ	2	選択	1	
MCGY702	博士音楽美学特講Ⅱ	2	選択	1	
MCGY703	博士外国語原典研究特講Ⅰ	2	選択	1	
MCGY704	博士外国語原典研究特講Ⅱ	2	選択	1	
THRY701	博士楽曲研究特講Ⅰ	2	選択	1	
THRY702	博士楽曲研究特講Ⅱ	2	選択	1	
ARTM701	博士舞台芸術政策特講Ⅰ	2	選択	1	
ARTM702	博士舞台芸術政策特講Ⅱ	2	選択	1	
ARTM703	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅰ	2	選択	1	
ARTM704	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅱ	2	選択	1	
MUTH701	博士音楽療法特講Ⅰ	2	選択	1	
MUTH702	博士音楽療法特講Ⅱ	2	選択	1	

## ■ 修了要件単位数：14単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる
- カテゴリ「必修」は全て修得すること
- カテゴリ「選択」から6単位以上修得すること

## ■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 「オペラ等の舞台芸術政策」を研究主題とする場合

博士研究方法論特講
博士舞台芸術政策特講Ⅰ
博士舞台芸術政策特講Ⅱ

- 「劇場・音楽堂のマネジメント」を研究主題とする場合

博士外国語原典研究特講Ⅰ
博士舞台芸術マネジメント特講Ⅰ
博士舞台芸術マネジメント特講Ⅱ

## ■ 開講科目一覧

ナンバリングコード*	科目名	単位数	カテゴリ	配当年次	備考
COMN701	博士研究指導①	0	必修	1	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN702	博士研究指導②	0	必修	1	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN801	博士研究指導③	0	必修	2	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN802	博士研究指導④	0	必修	2	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN901	博士研究指導⑤	0	必修	3	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN902	博士研究指導⑥	0	必修	3	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
PHDP701	博士運営領域論文演習①	1	必修	1	
PHDP702	博士運営領域論文演習②	1	必修	1	
PHDP801	博士運営領域論文演習③	1	必修	2	
PHDP802	博士運営領域論文演習④	1	必修	2	
PHDP703	博士運営領域研究①	1	必修	1	
PHDP704	博士運営領域研究②	1	必修	1	
PHDP803	博士運営領域研究③	1	必修	2	
PHDP804	博士運営領域研究④	1	必修	2	
PHDP901	博士運営領域論文演習⑤	1	選択	3	
PHDP902	博士運営領域論文演習⑥	1	選択	3	
PHDP903	博士運営領域研究⑤	1	選択	3	
PHDP904	博士運営領域研究⑥	1	選択	3	
HIST701	博士西洋音楽史特講Ⅰ	2	選択	1	
HIST702	博士西洋音楽史特講Ⅱ	2	選択	1	
MCGY701	博士音楽美学特講Ⅰ	2	選択	1	
MCGY702	博士音楽美学特講Ⅱ	2	選択	1	
MCGY703	博士外国語原典研究特講Ⅰ	2	選択	1	
MCGY704	博士外国語原典研究特講Ⅱ	2	選択	1	
THRY701	博士楽曲研究特講Ⅰ	2	選択	1	
THRY702	博士楽曲研究特講Ⅱ	2	選択	1	
ARTM701	博士舞台芸術政策特講Ⅰ	2	選択	1	
ARTM702	博士舞台芸術政策特講Ⅱ	2	選択	1	
ARTM703	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅰ	2	選択	1	
ARTM704	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅱ	2	選択	1	
MUTH701	博士音楽療法特講Ⅰ	2	選択	1	
MUTH702	博士音楽療法特講Ⅱ	2	選択	1	
PHDP705	博士研究方法論特講	2	選択	1	

## ■ 修了要件単位数：14単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる
- カテゴリ「必修」は全て修得すること
- カテゴリ「選択」から6単位以上修得すること

## ■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 「自閉症スペクトラム障害への音楽療法」を研究主題とする場合

博士研究方法論特講
博士音楽療法特講Ⅰ
博士音楽療法特講Ⅱ

## ■ 開講科目一覧

ナンバリングコード*	科目名	単位数	カテゴリ	配当年次	備考
COMN701	博士研究指導①	0	必修	1	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN702	博士研究指導②	0	必修	1	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN801	博士研究指導③	0	必修	2	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN802	博士研究指導④	0	必修	2	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN901	博士研究指導⑤	0	必修	3	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN902	博士研究指導⑥	0	必修	3	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
PHDP701	博士運営領域論文演習①	1	必修	1	
PHDP702	博士運営領域論文演習②	1	必修	1	
PHDP801	博士運営領域論文演習③	1	必修	2	
PHDP802	博士運営領域論文演習④	1	必修	2	
PHDP703	博士運営領域研究①	1	必修	1	
PHDP704	博士運営領域研究②	1	必修	1	
PHDP803	博士運営領域研究③	1	必修	2	
PHDP804	博士運営領域研究④	1	必修	2	
PHDP901	博士運営領域論文演習⑤	1	選択	3	
PHDP902	博士運営領域論文演習⑥	1	選択	3	
PHDP903	博士運営領域研究⑤	1	選択	3	
PHDP904	博士運営領域研究⑥	1	選択	3	
HIST701	博士西洋音楽史特講Ⅰ	2	選択	1	
HIST702	博士西洋音楽史特講Ⅱ	2	選択	1	
MCGY701	博士音楽美学特講Ⅰ	2	選択	1	
MCGY702	博士音楽美学特講Ⅱ	2	選択	1	
MCGY703	博士外国語原典研究特講Ⅰ	2	選択	1	
MCGY704	博士外国語原典研究特講Ⅱ	2	選択	1	
THRY701	博士楽曲研究特講Ⅰ	2	選択	1	
THRY702	博士楽曲研究特講Ⅱ	2	選択	1	
ARTM701	博士舞台芸術政策特講Ⅰ	2	選択	1	
ARTM702	博士舞台芸術政策特講Ⅱ	2	選択	1	
ARTM703	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅰ	2	選択	1	
ARTM704	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅱ	2	選択	1	
MUTH701	博士音楽療法特講Ⅰ	2	選択	1	
MUTH702	博士音楽療法特講Ⅱ	2	選択	1	
PHDP705	博士研究方法論特講	2	選択	1	

## ■ 修了要件単位数：14単位

- 対象科目は開講科目一覧を参照すること
- 「・・・①」「・・・②」など○数字が付記してある積み上げ科目は、同じ科目名同士①から順番に履修すること
- 配当年次を過ぎた科目は、全て履修ができるようになる
- カテゴリ「必修」は全て修得すること
- カテゴリ「選択」から6単位以上修得すること

## ■ 履修モデル《必修以外の履修推奨科目》

- 西洋音楽史に関する諸分野を研究主題とする場合

博士西洋音楽史特講Ⅰ
博士西洋音楽史特講Ⅱ
博士音楽美学特講Ⅰ
博士音楽美学特講Ⅱ
博士音楽文化研究領域研究⑤
博士音楽文化研究領域研究⑥
博士音外国語原典研究特講Ⅰ
博士音外国語原典研究特講Ⅱ

- 現代の音楽文化と社会に関する諸分野を研究主題とする場合

博士西洋音楽史特講Ⅱ
博士音楽美学特講Ⅰ
博士音楽文化研究領域研究⑤
博士音楽文化研究領域研究⑥
博士舞台芸術政策特講Ⅰ
博士音外国語原典研究特講Ⅰ
博士音外国語原典研究特講Ⅱ

## ■ 開講科目一覧

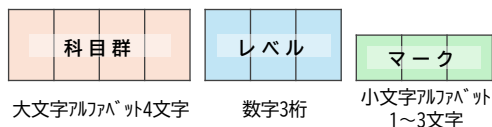
ナンバリングコード	科目名	単位数	カテゴリ	配当年次	備考
COMN701	博士研究指導①	0	必修	1	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN702	博士研究指導②	0	必修	1	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN801	博士研究指導③	0	必修	2	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN802	博士研究指導④	0	必修	2	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN901	博士研究指導⑤	0	必修	3	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
COMN902	博士研究指導⑥	0	必修	3	合(CR)・否(NC)のみで判定される科目
PHDP706	博士音楽文化研究領域論文演習①	1	必修	1	
PHDP707	博士音楽文化研究領域論文演習②	1	必修	1	
PHDP805	博士音楽文化研究領域論文演習③	1	必修	2	
PHDP806	博士音楽文化研究領域論文演習④	1	必修	2	
PHDP708	博士音楽文化研究領域研究①	1	必修	1	
PHDP709	博士音楽文化研究領域研究②	1	必修	1	
PHDP807	博士音楽文化研究領域研究③	1	必修	2	
PHDP808	博士音楽文化研究領域研究④	1	必修	2	
PHDP905	博士音楽文化研究領域論文演習⑤	1	選択	3	
PHDP906	博士音楽文化研究領域論文演習⑥	1	選択	3	
PHDP907	博士音楽文化研究領域研究⑤	1	選択	3	
PHDP908	博士音楽文化研究領域研究⑥	1	選択	3	
HIST701	博士西洋音楽史特講Ⅰ	2	選択	1	
HIST702	博士西洋音楽史特講Ⅱ	2	選択	1	
MCGY701	博士音楽美学特講Ⅰ	2	選択	1	
MCGY702	博士音楽美学特講Ⅱ	2	選択	1	
MCGY703	博士外国語原典研究特講Ⅰ	2	選択	1	
MCGY704	博士外国語原典研究特講Ⅱ	2	選択	1	
THRY701	博士楽曲研究特講Ⅰ	2	選択	1	
THRY702	博士楽曲研究特講Ⅱ	2	選択	1	
ARTM701	博士舞台芸術政策特講Ⅰ	2	選択	1	
ARTM702	博士舞台芸術政策特講Ⅱ	2	選択	1	
ARTM703	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅰ	2	選択	1	
ARTM704	博士舞台芸術マネジメント特講Ⅱ	2	選択	1	
MUTH701	博士音楽療法特講Ⅰ	2	選択	1	
MUTH702	博士音楽療法特講Ⅱ	2	選択	1	
PHDP705	博士研究方法論特講	2	選択	1	

## ◎ 科目ナンバリング

本学では、授業科目に番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組み、科目ナンバリングを導入しています。

科目ナンバリングは、学生の主体的な学修支援を目的としています。各科目のナンバリングコードで科目群やレベル等を理解し、シラバスの確認や履修登録の参考にしてください。

### ■ ナンバリングコードの構成



科目群	アルファベット	アルファベットの由来	備考
教養科目	LART	Liberal Arts	資格課程関連科目はCERTを付与
英語科目	ENGL	English	基礎101~119、初級120~139、中級140~159、上級160~179
イタリア語科目	ITAL	Italian	
ドイツ語科目	GRMN	German	
フランス語科目	FRNC	French	
作曲系科目	COMP	Composition	作曲、サウンドプロデュース、デジタルミュージック
指揮系科目	COND	Conducting	
声楽系科目	VOCL	Vocal Music	声楽、合唱指導者
声とことばの創造表現系科目	VOWO	Voice and Words	
ピアノ系科目	PIAN	Piano	
オルガン系科目	ORGN	Organ	オルガン、電子オルガン
弦管打楽器系科目	SWBP	Strings, Woodwinds, Brass, Percussion	
ジャズ、ポップ&ロック系科目	JZPR	Jazz, Pop&Rock music	ジャズ、ポップ&ロック、ジャズ&コンテンポラリーミュージック
アートマネジメント系科目	ARTM	Arts Management	
舞台スタッフ系科目	SSTF	Stage Staff	
ミュージカル系科目	MUCL	Musical	
バレエ系科目	BALL	Ballet	
音楽療法系科目	MUTH	Music Therapy	
音楽教養系科目	MULA	Music Liberal Arts	
音楽と社会系科目	MUSO	Music and Society	
音楽と文化系科目	MUCU	Music and Culture	
音楽基礎・理論系科目	THRY	Music Theory	
音楽史・芸術史系科目	HIST	History	
ソルフェージュ科目	SOLF	Solfège	
音楽学系科目	MCGY	Musicology	
海外研修科目	ABRD	Study Abroad	
資格課程関連科目	CERT	Certificate Programs	80番台、90番台は卒業単位に含まれない科目
表現領域科目	DMAP	DMA program	博士後期課程音楽芸術表現領域向け科目
運営および音楽文化研究領域科目	PHDP	PhD programs	博士後期課程音楽芸術運営領域および音楽文化研究領域向け科目
その他	COMN	Common Courses	

レベル	数字	備考
学部、短大1年次相当	100番台	
学部、短大2年生相当	200番台	短大教職課程および司書課程の一部の科目は例外あり。詳細は資格課程履修要綱・教職課程ハンドブックを参照。
学部3年生相当	300番台	
学部4年生相当	400番台	
修士、専攻科1年生相当	500番台	
修士2年生相当	600番台	
博士1年生相当	700番台	
博士2年生相当	800番台	
博士3年生相当	900番台	

マーク	アルファベット	アルファベットの由来	備考
短大開講科目	a	Associate degree programs	
専攻科開講科目	p	Post-baccalaureate program	
教職課程関連科目	t	Teacher	80番台、90番台は卒業単位に含まれない科目
学芸員課程関連科目	c	Curator	80番台、90番台は卒業単位に含まれない科目
司書課程関連科目	l	Librarian	80番台、90番台は卒業単位に含まれない科目

◎ 博士後期課程 科目一覧（ナンバリングコード アルファベット順）

ナンバリングコード	科目名	単位数
ARTM701	博士舞台芸術政策特講 I	2
ARTM702	博士舞台芸術政策特講 II	2
ARTM703	博士舞台芸術マネジメント特講 I	2
ARTM704	博士舞台芸術マネジメント特講 II	2
COMN701	博士研究指導①	0
COMN702	博士研究指導②	0
COMN801	博士研究指導③	0
COMN802	博士研究指導④	0
COMN901	博士研究指導⑤	0
COMN902	博士研究指導⑥	0
DMAP701	博士表現領域論文演習①	1
DMAP702	博士表現領域論文演習②	1
DMAP703	博士表現領域研究①	1
DMAP704	博士表現領域研究②	1
DMAP801	博士表現領域論文演習③	1
DMAP802	博士表現領域論文演習④	1
DMAP803	博士表現領域研究③	1
DMAP804	博士表現領域研究④	1
DMAP901	博士表現領域論文演習⑤	1
DMAP902	博士表現領域論文演習⑥	1
DMAP903	博士表現領域研究⑤	1
DMAP904	博士表現領域研究⑥	1
HIST701	博士西洋音楽史特講 I	2
HIST702	博士西洋音楽史特講 II	2
MCGY701	博士音楽美学特講 I	2
MCGY702	博士音楽美学特講 II	2
MCGY703	博士外国語原典研究特講 I	2
MCGY704	博士外国語原典研究特講 II	2
MUTH701	博士音楽療法特講 I	2
MUTH702	博士音楽療法特講 II	2
PHDP701	博士運営領域論文演習①	1
PHDP702	博士運営領域論文演習②	1
PHDP703	博士運営領域研究①	1
PHDP704	博士運営領域研究②	1
PHDP705	博士研究方法論特講	2
PHDP706	博士音楽文化研究領域論文演習①	1
PHDP707	博士音楽文化研究領域論文演習②	1
PHDP708	博士音楽文化研究領域研究①	1
PHDP709	博士音楽文化研究領域研究②	1
PHDP801	博士運営領域論文演習③	1
PHDP802	博士運営領域論文演習④	1
PHDP803	博士運営領域研究③	1
PHDP804	博士運営領域研究④	1
PHDP805	博士音楽文化研究領域論文演習③	1
PHDP806	博士音楽文化研究領域論文演習④	1
PHDP807	博士音楽文化研究領域研究③	1
PHDP808	博士音楽文化研究領域研究④	1
PHDP901	博士運営領域論文演習⑤	1
PHDP902	博士運営領域論文演習⑥	1
PHDP903	博士運営領域研究⑤	1
PHDP904	博士運営領域研究⑥	1
PHDP905	博士音楽文化研究領域論文演習⑤	1
PHDP906	博士音楽文化研究領域論文演習⑥	1
PHDP907	博士音楽文化研究領域研究⑤	1
PHDP908	博士音楽文化研究領域研究⑥	1
THRY701	博士楽曲研究特講 I	2
THRY702	博士楽曲研究特講 II	2



*Showa*  
ACADEMIA  
MUSICAE